

### 3. 基本戦略－2 みどりの風を感じるネットワークの形成

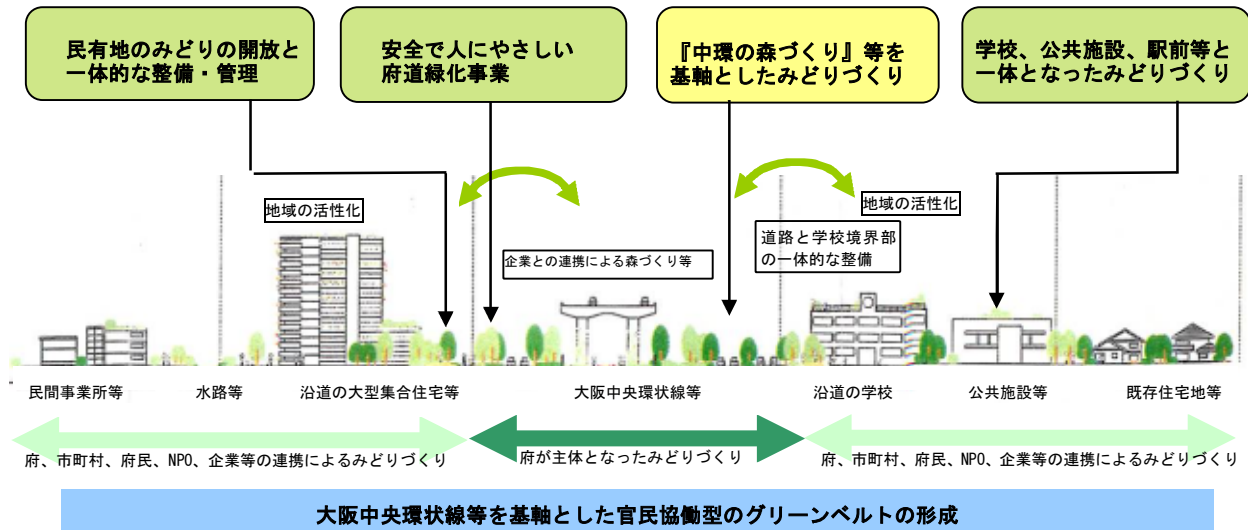
目標

主要道路・主要河川・大規模公園緑地を軸や拠点として、環状・放射状・東西方向などの、みどりの連続性や厚みと広がり確保し、周辺山系や大阪湾の豊かな自然を街へと導く「みどりのネットワーク」を形成します。

#### 主要道路を主軸としたみどりのネットワークの形成

##### ■施策展開イメージ

(例) 大阪中央環状線



##### ■具体的戦略

#### 主軸となる道路空間のみどりの拡充

##### ◆『中環の森づくり』等を基軸としたみどりづくり

街路樹の適正な整備や沿道の公共施設などのみどりの充実とともに、市町村や府民、NPO、企業等の地域との連携によりみどりを育成し、道路空間を活用したみどりの骨格軸を創出します。同時に、下水の処理水や雨水を活用し、環境に配慮した取り組みを進めます。

##### ◆安全で人にやさしい府道緑化事業の推進

防火機能の高い樹種の導入や街路樹の密度アップ等により災害時の延焼防止や避難路の確保に努め、植栽樹の改良や歩道の拡幅等により高齢者、障がい者等に配慮した緑化の推進に努めます。

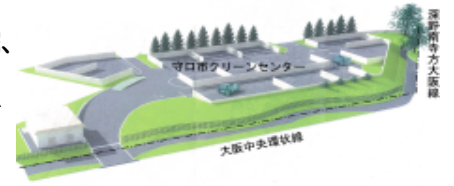
##### ◆夏を冷やすクールロード事業

地域住民との相互理解のもと、剪定方法を工夫し樹木の本来あるべき姿に再生させながら樹木のボリュームを確保し、美しく緑陰のある高木の並木道を創出します。また、電線共同溝等で道路の無電柱化を進め、緑化と併せた美しい景観を創出します。更に、地域協働が盛んな地域の道路等で、地域連携による打ち水の実施や環境に配慮した舗装等を実施するなど、涼しく連続した木陰のみち（クールロード）を形成していきます。



◆ 道路と隣接地との一体的な整備・管理

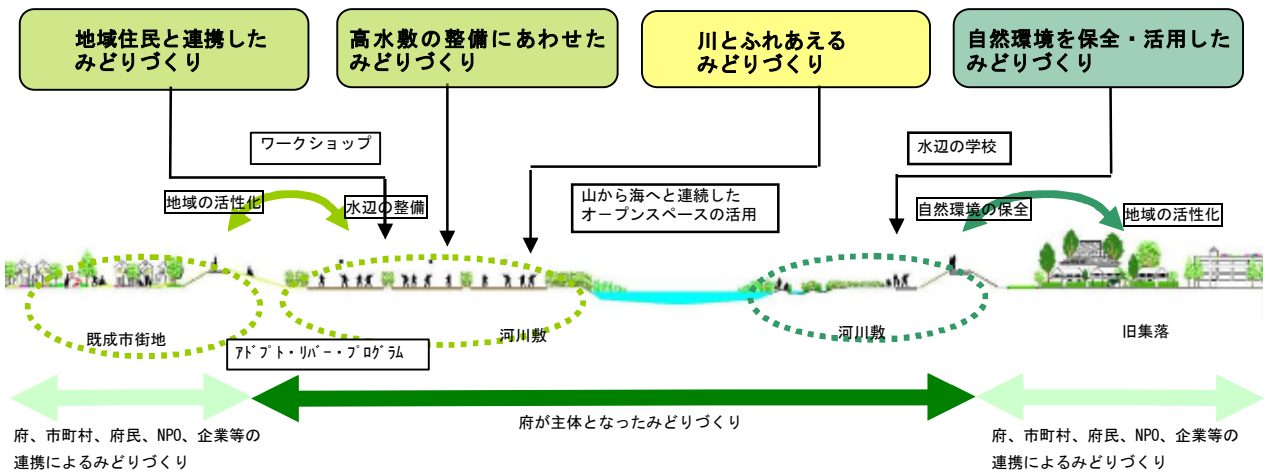
道路空間のみどりに厚みと広がりをもたせるため、隣接する学校や病院、工場などの協力を得ながら、緑化をはじめ、フェンスの撤去や緑化フェンスへのリニューアルなどを実施し、一体的な視覚効果の高いみどりづくりを推進します。



主要河川を主軸としたみどりのネットワークの形成

■ 施策展開イメージ

(例) 石川



■ 具体的戦略

主軸となる河川空間のみどりの拡充

◆ 水の都「大阪」の再生

都市部の河川においては、水都再生の取組みを進める中で、積極的に緑化を進め、水辺に木陰を形成し、涼しげで緑豊かな賑わい空間を創出します。



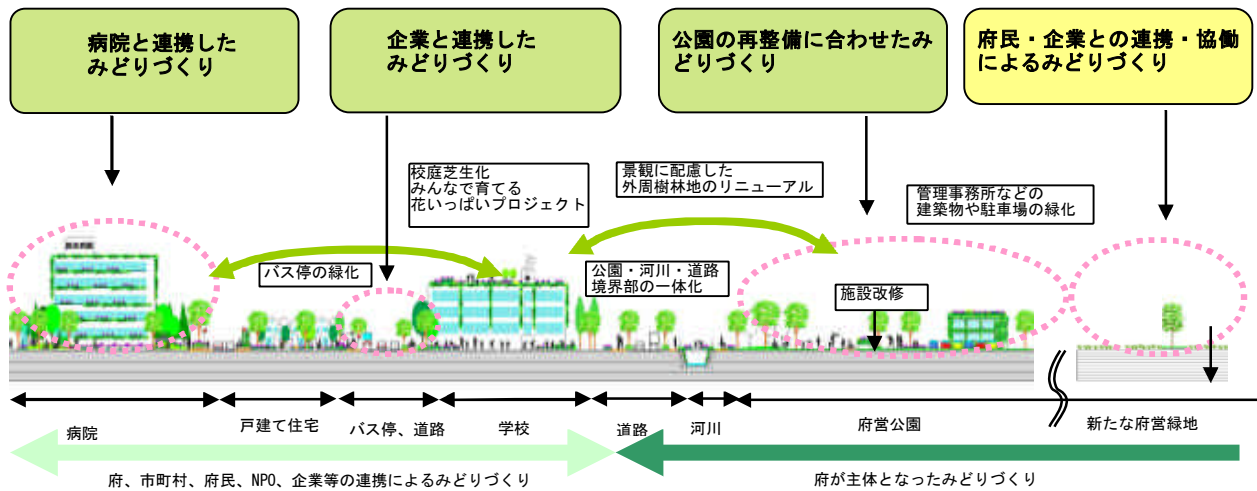
◆ 持続的かつ多様な河川環境の創出

周辺の土地利用等を踏まえたまちづくりの中で、河川が有している自然の復元力を積極的に誘導できるよう、持続的かつ多様な河川環境の創出に努めるとともに、地域特性に応じて川に身近にふれあえる憩いの場を形成していきます。



# 大規模公園緑地を拠点としたみどりのネットワークの形成

## ■施策展開イメージ



## ■具体的戦略

### 拠点となる大規模公園緑地の充実

#### ◆ 都市を冷やす巨大なみどりの拠点づくり

府営公園の着実な整備に加え、既存樹木の健全な生育を促すとともに、施設の新設や改修時において、屋上・壁面・駐車場などの緑化や遮熱性舗装などにも取り組んでいきます。また、事業予定地の一部を活用し、府民協働により先行的に緑化していきます。

#### ◆ 泉佐野丘陵緑地における大規模緑地づくり

企業グループなどと連携して民間資金やボランティアの力をあわせた、全国初の大規模緑地づくりを推進します。府民協働により生産した花苗を、「大阪市の中心部での花飾り」などに提供し、まちの緑化支援拠点のモデルとして地域活性化に資するみどりづくりを実施していきます。

#### ◆ パークマネジメントの実践

経営的視点・利用者の視点に立って、より質の高い公園サービスを実施することにより、公園の新しい魅力や可能性を発掘する事業を実施し、結果を評価して継続的に改善を実施していきます。

#### ◆ 住民の交流の場となる下水処理施設内緑地整備の推進

地域に開かれた下水道を目指し、水みらいセンター内の施設の屋上及び場内の芝生広場やせせらぎなどの緑地を府民へ開放し、憩いの場や地域のイベント交流の場、水辺の環境学習の場として提供します。



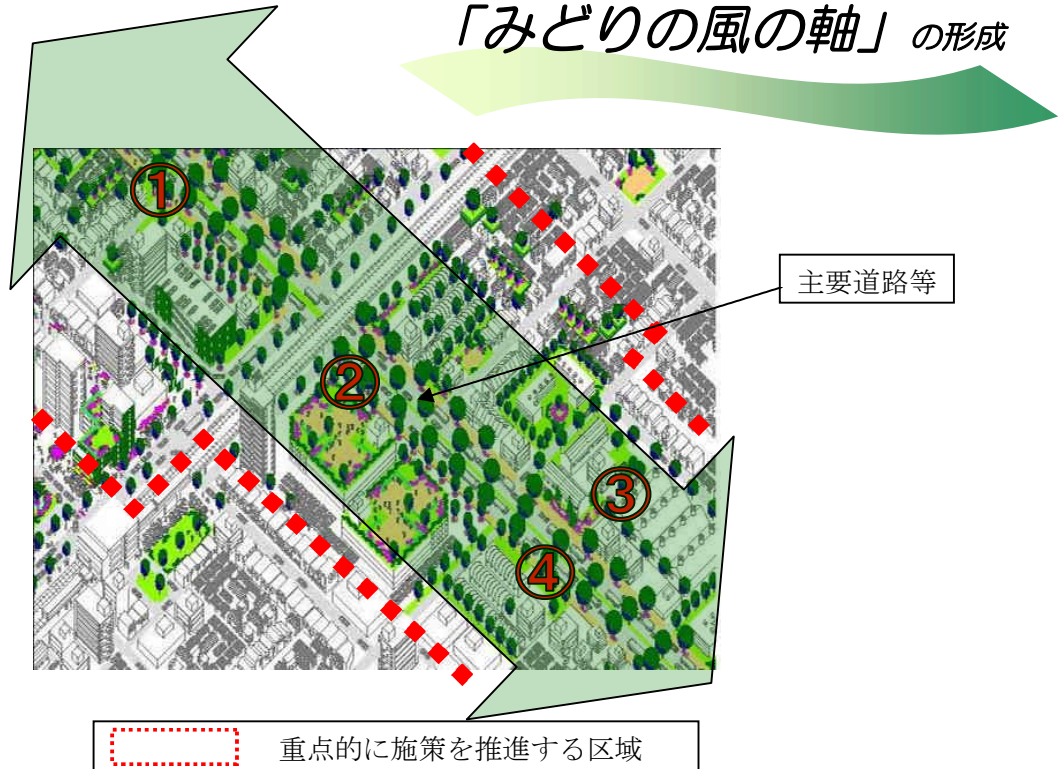


## 主軸や拠点となるみどりの連続性や厚みと広がり確保

### ■施策展開イメージ

主要道路、主要河川、大規模公園を中心に、  
連続性と厚み、広がりのある

「みどりの風の軸」の形成



### ■具体的戦略

#### みどり豊かなセミパブリック空間の創出による「みどりの風の軸」の形成

##### ◆ (仮称)みどりの風促進区域の指定

主軸や拠点となるみどりの連続性や厚みと広がり確保するため、行政区域を越えた広域的な視点で目標像を見極め、主要道路や主要河川、大規模公園などの都市施設等を軸や拠点とした一定のまとまりのある区域を特に重点的に施策を推進する“(仮称)みどりの風促進区域”の指定を検討します。

そこでは軸となる都市施設等を中心に民有地と一体で緑化空間を創出するなど、区域内のみどりの充実を図り、みどり豊かなセミパブリック空間を重点的に創出します。

そのため、都市施設等の従来からの緑化充実や透水性舗装によるヒートアイランド対策はもとより、景観やまちづくりからの視点も踏まえ、周辺民有地の緑化の規制誘導策など多様な手法の可能性を探りながら、面的な広がりのあるみどり空間の創出や建築物の緑化など厚みのあるみどりづくりを進めます。

推進にあたっては、市町村との連携や民間の力の活用を図るなど複層的・重点的にみどり施策を推進し、厚みと広がりのある「みどりの風の軸」を形成します。



① 公園の外周部と隣接する歩道との一体的な空間整備



② 歩道と隣接する公共施設や公開空地などの民有地との一体的な整備や管理



③ 民有地の規制誘導等による、人の目にふれ楽しめる効果的な緑化促進



④ 未利用地の暫定利用によるコミュニティガーデンの整備